

北海道グリーンビジネス 振興プログラムの取り組みについて

北海道経済産業局
環境資源部
環境産業振興室

はじめに

北海道地域の環境関連のビジネスは、地域の優位性や特性を活かすことにより、強く大きく発展する可能性に満ちあふれています。また、北海道地域の環境保全への役割はもとより、北海道経済の自立的発展に大きな役割を果たしていく重要ビジネスと考えます。

北海道経済産業局は、この重要ビジネスを戦略的に振興するため、2003年6月、具体目標と行動事項の設定からなる『北海道グリーンビジネス振興プログラム』を策定しました。2003年をスタートとして、地域の民・産・学・官との良質な連携を確保し、「環境」と「経済」の両立からもたらされるビジネスチャンスが地域にしっかり根を張り葉が大きく茂るよう、『北海道グリーンビジネス振興プログラム』を展開しています。

本稿では、プログラム策定の基礎となった「北海道グリーンビジネスの産業規模・雇用規模の現状と展望に関する調査」の概要と、『北海道グリーンビジネス振興プログラム』の取り組みについてご紹介します。

1 「北海道グリーンビジネス」とは

「グリーン (Green)」は、環境への対応を示す言葉としてわが国でも多用されはじめており、グリーン調達(環境に配慮した部品、材料、製品等を優先して購入)、グリーン電力(風力等の自然エネルギー発電)などの用語活用例があります。また、「グリーンビジネス (Green Business)」は、環境関連ビジネスを示す国際共通語として用いられています。

当局では、北海道地域の環境関連の産業や事業活動について、国際的に飛躍していく期待も込めて「北海道グリーンビジネス」という政策名を用います。

「北海道グリーンビジネス」には、北海道地域の環境(エコ)ビジネス、リサイクル(循環・静脈)産業、新エネ・省エネビジネスなどの業として取り組むもののほか、それ以外の既存産業・事業活動における経済性を考慮した環境配慮のビルトイン(グリーン化)等の取組も含まれます。

2 北海道グリーンビジネスの規模と構造

北海道経済産業局では、北海道地域におけるグリーンビジネスの産業規模とその構造を明らかにするとともに、今後急速な成長・発展が期待されるグリーンビジネス分野の新規事業化を促進することを目的に、「北海道グリーンビジネスの産業規模・雇用規模の現状と展望に関する調査」を実施し、2002年12月20日に結果を公表しました。

本調査は、2002年6月に産業構造審議会循環ビジネスワーキンググループにおいて公表された「環境産業の市場規模・雇用規模の現状と展望」に準拠した算出方法を採用したもので、これを展開した地域別調査としては全国初の取り組みです。

2.1 北海道グリーンビジネスの現状

北海道のグリーンビジネスの産業規模は約2兆円で、この産業規模は、北海道全体の公共工事の規模に匹敵し、大きくかつ競争力ある産業分野といえます。また、その国内市場シェアは4.2%であり、北海道のGDPの全国シェアとほぼ同じ割合であることから、北海道のグリーンビジネスの現状の産業規模は、北海道の経済規模に比例しているといえます。

雇用規模は、約6万4千人となり、北海道内の就業者数の2.5%を占めています。この数字は北海道の機械・金属製品製造業の就業者数を上回る規模となっています。

本調査では、広範多岐にわたるグリーンビジネスを「製造型分野」、「建設型分野」及び「サービス型分野」の3分野に分割して整理しました。

特筆すべき点は、「製造型分野」のシェアが3.4%であり、北海道の製造業出荷額が全国シェアの2%台であることを考慮すると、グリーンビジネスにおける製造型分野は健闘している分野といえます。これは、北海道地域が伝統的に強い鉄鋼、紙パ、セメント業等が循環資源（スクラップ鉄、古紙、石炭灰等）を用いた製品製造において、その利用比率の向上とともに事業規模が拡大してきたことも影響が大きいと考えられます。

また、近年北海道各地において導入の動きが見られる新エネルギー・省エネルギー関連分野についての現状についても算出したところ、産業規模は120億円、全国シェア1.6%、雇用規模は270人

北海道のグリーンビジネスの産業規模・雇用規模(2000年)

分類	産業規模 (億円)	雇用規模 (人)	全国シェア (%)	
			北海道	全国
製造型	①環境調和型製品製造	1,800	2,400	4.2%
	②環境関連装置製造	160	700	0.4%
	③リサイクル	200	800	0.5%
建設型	①環境修復・環境創造	650	2,900	1.1%
	②処分場等施設建設	110	100	0.0%
サービス型	①中古品流通・リペア	5,500	37,000	1.5%
	②建築リフォーム	10,300	9,200	0.4%
	③不要品回収・分別	430	2,200	0.1%
	④廃棄物処理	1,000	7,500	0.3%
	⑤下水・し尿処理	50	700	0.0%
	⑥環境関連サービス	60	300	0.0%
合計	20,100	64,000	4.2%	4.2%
エネルギー分野(外数)	120	270	1.6%	1.6%

注) 全国シェアは産業規模ベース
値の丸めの処理により合計は一致しない。

北海道GDP全国シェア

となりました。

2.2 2010年の北海道グリーンビジネス

わが国全体が環境と経済の両立による持続可能な経済社会の構築を目指し、環境配慮への取り組みを活発化させていくため、全国のグリーンビジネスの産業規模は、今後右肩上がりの増加が予想されます。

2010年の北海道グリーンビジネスの規模を同じく産業構造審議会循環ビジネスワーキングの2010年推計値算出手法に準拠し推計すると、産業規模2.7兆円、雇用規模7万7千人と成長は続きます。しかし、国内市場のシェアは4.0%、産業規模伸び率は1.3倍と、全国値と比較して低下・鈍化する事態が予測されます。これは、成長・発展が著しいわが国環境関連ビジネスにおいて、北海道地域が全国平均に追いつけなくなることを意味します。

このため、成長有望分野をしっかり捉え、効果的な振興策を講じていく必要があります。

北海道と全国のグリーンビジネスの産業規模・雇用規模の展望

	北海道		全国	
	現状	2010年	現状	2010年
産業規模	2兆円	2.7兆円	48兆円	67.3兆円
全国シェア	4.2%	4.0%	-	
産業規模 伸び率	1.3倍		1.4倍	
雇用規模	6万4千人	7万7千人	136万人	170万人

2.3 注目すべきグリーンビジネス有望分野

当局では、前述の調査結果および、北海道地域特有の資源・社会基盤等の活用や、製品・サービスの移出あるいは広域的な循環資源受入など域外取引による発展性等を踏まえ、次の分野が成長有望分野と考えています。

(1) 「リサイクル」について

リサイクルについては、3分野のうち、製造型「③リサイクル」及びサービス型「④廃棄物処理」の一部が該当し、高度な技術シーズを活用して行う各種リサイクル事業を意味します。「③リサイクル」分野は、“使用済み製品などのリサイクル”と、“再資源化”から構成されます。

全体の産業規模は約200億円、全国シェアは2%と数字は小さいですが、全国では1兆円規模の産業で、各地でその取り組みが急速に進展しています。

この分野は、社会システムの変化や技術革新など急速な情勢変化への対応が事業成功の鍵であり、北海道地域が立地条件等の特性を活かし、わが国環境対策に貢献していくことが期待されます。

(2) 「グリーンプロダクツ製造」について

グリーンプロダクツ(環境配慮型製品)製造については、製造型「①環境調和型製品製造」、②環境関連装置製造」が該当します。現在、産業規模が1,960億円、全国シェアが3.7%となります。「①環境調和型製品製造」分野は、生分解性プラスチックや代替フロンなど、製品自体が環境負荷の低減に資する環境調和性を持ち、従来型製品と同等の機能を有する“エコマテリアル”と、鉄鋼、セメント、紙、ガラス容器等において、循環型の原料を使用して製造された素材等の製品を指す“循環型素材”に大別されます。また、「②環境関連装置製造」分野は、“公害防止装置”や、“廃棄物処理・リサイクル装置”、“環境分析装置”などから構成されます。

この分野は、今後競争激化も予測されますが、消費拡大が見込まれることから、北海道地域特有の資源・風土を活用し、国内外市場をターゲットとした製品開発を行い得る可能性が大きいといえます。

(3) 「バイオマス」について

「バイオマス」は、前述の調査でグリーンビジ

ネスの外数として推計した「エネルギー」分野の一部と、製品・素材利活用(肥料化、飼料化、工業原料等)に係る“廃棄物処理・リサイクル装置”や“再資源化”などが該当します。

「エネルギー」分野は、“環境調和型エネルギー供給”や、“新エネ・省エネ装置・設備等”、“新エネ供給”から構成され、長期的な観点で有望ですが、バイオマスを資源として十二分に活用するには、燃焼等によるエネルギー利用のみならず、製品・素材として価値の高い順に可能な限り長く繰り返し利用することが重要であるため、既存技術の最適組合せや地域実情に応じたシステム構築が求められています。

バイオマス自体は、農業系の家畜ふん尿や林業系の間伐材、食品加工業から排出される産廃系の動植物性残さ等に代表されるように、北海道が国内で最も大量に発生する地域であり、わが国全体でもその利用の重要性を認識し、急速に利活用の促進を進めています。

(4) その他の有望ビジネス分野

上述の3分野に加え、多自然型工法(環境修復・環境創造)の拡大や公共分野(都市ごみ・下水処理尿処理)の民間解放などが、今後の政策如何で大きなビジネスになりうる分野と考えられます。

3 『北海道グリーンビジネス振興プログラム』の推進について

当局では、『北海道グリーンビジネス振興プログラム』を北海道地域において環境関連ビジネスを展開する本道地域内外の企業や事業者組織、NPOをはじめとした地域市民組織等や生活者、大学等の研究機関や関連研究者、地方自治体の各方面(民・産・学・官)との連携・協働により推進し、その直接的施策効果によって、10年後北海道グリーンビジネスの成長を全国成長率に伍するレベルまで引き上げます。

4 北海道グリーンビジネス振興プログラムの目標

北海道グリーンビジネス振興プログラムの策定につきましては、具体的な産業規模や雇用規模を中心とした長期及び中期の数値目標を掲げると

拡がりの追求

北海道地域産業
グリーン化プログラム

北海道地域の産業活動及び
地域社会に環境配慮要素を
組み込む施策プログラム

高さの追求

グリーンビジネス分野
トップ企業創出プログラム

高い潜在能力の企業群を
トップシェア企業に誘導する
施策プログラム

密度（厚さ）の追求

グリーンビジネス
拠点形成プログラム

地域資源・インフラ等を活用した
強い競争力のビジネス拠点化を
実現する施策プログラム

つながりの追求

グリーンビジネス推進ネットワークの構築

グリーンビジネスの各種活動の活性化を促進する協働と競争の民産学官ネットワーク

ともに、関係者の皆様のご理解のもとにプログラムを推進すべきと考えています。

具体的な長期目標としましては、2010年に産業規模3兆円、雇用規模8万5千人を目指します。この産業規模は、現在の北海道農水産物の卸売年間販売額と同程度の一大ビジネスとなります。前述調査による自然増では2010年2.7兆円に向けて年率3%成長で推移しますが、これにプログラムによる施策効果として年率1%プラスを見込み、年率4%成長を目指します。また、雇用規模は、現在の道路貨物運送業の従業員規模と同程度となり、かつワークシェア型就労人材の活用も可能なことから、その関連従事者数はさらに大規模となり、重要な雇用機会となります。

また、中期目標については、2005年に産業規模2.4兆円、雇用規模7万3千人と定めました。これは、産業規模では道内石油製品製造産業に匹敵する新事業が、雇用規模では紙・パルプ産業と同規模の産業雇用が新たに加わることを意味します。

5 北海道グリーンビジネス振興プログラムの構成

目標の実現に向け、本年度から本格展開している『北海道グリーンビジネス振興プログラム』は、「北海道グリーンビジネス」の振興に必要な三方向（ビジネスの拡がり、ビジネスの高さ、ビジネスの密度（厚さ））を追求した3つのサブ・プログラムから構成されています。また、施策推進の加速化に必要な共通ベースとしてのネットワーク構築（ビジネスのつながり）の取り組みも同時に展開しています。

5.1 北海道地域産業グリーン化プログラム

北海道地域の各種産業分野・企業活動へのグリーン化（環境配慮の組み込み）の促進を通じて、企業による自主的な環境配慮事業活動を増進させるとともに、環境経営の社会定着と市場・行政のグリーン化を促進し、北海道地域の産業の競争力を向上させます。

また、多様な事業主体（企業、NPO、行政、大学等）による新たな環境配慮活動の創出と市場・社会への環境配慮の定着化を進め、北海道地域産業・地域社会全体のグリーン化を目指します。

〈行動プログラム〉

- I. 企業における環境経営の導入促進
- II. 製品・サービス等への環境配慮化の促進
- III. 地域における共同環境配慮活動の促進
- IV. 環境経営の定着のための市場環境整備
- V. グリーンビジネス推進ネットワークの活用

5.2 グリーンビジネス分野トップ企業創出プログラム

優れた経営資源（技術、人材、経営戦略、販路等）を有するとともに、これらを活かした新たな価値創造を発揮しうる企業への強力な振興施策の投入を通じて、北海道地域から多数のグリーンビジネス分野トップ（トップシェア）企業群の創出を支援します。

また、これら企業を核とした、独創的かつ優れたビジネスモデルの事業化を重点的に支援し、北海道グリーンビジネスのクラスター的な発展を目指します。

〈行動プログラム〉

- I. 競争力確保に必要な各種経営資源の充

実・強化

- Ⅱ. 早期事業化のための事業環境整備
- Ⅲ. 独創的ビジネスモデルの創出のための企業間連携の促進
- Ⅳ. グリーンビジネス推進ネットワークの活用

5. 3 グリーンビジネス拠点形成プログラム

北海道地域が保有する各種の循環・エネルギー資源、高機能インフラ、工業集積資産等を活用し、わが国の循環型経済社会システムの構築に貢献するとともに、自然や生活環境と調和のとれた強い競争力を発揮しうるグリーンビジネス拠点の形成を促進します。

また、これら拠点を核として、北海道地域外からの循環資源の受入と全国への優れたグリーンプロダクト等の供給を積極的に行い、わが国循環型社会のモデル的拠点を目指します。

〈行動プログラム〉

- Ⅰ. 北海道グリーンビジネスタウン（工業集積・市街地等活用型拠点）の形成促進
- Ⅱ. 北海道グリーンビジネスパーク（新規大規模立地型拠点）の形成促進
- Ⅲ. バイオマス活用型ビジネス拠点の形成促進

5. 4 グリーンビジネス推進ネットワークの構築

グリーンビジネス分野で新たな事業展開を図る場合、複数の要素技術や経営資源の組合せ（複合化）による「独創的なビジネスモデル」を構築することが効果的であり、また、生活者や市民活動団体との協調や連携も事業成功のための重要な要素となります。

当局では、環境保全に資する技術の開発普及と企業の自主的な環境対策を支援するための企業等連携ネットワーク『エコロジア北海道21推進協議会』（事務局：北海道経済連合会）をベースとして、産学官に民を加えた情報・人的ネットワークの構築を支援します。



さいごに

本プログラムでは、常に民・産・学・官の皆様との良質な接点を維持しつつ、その体制と効果の点検に努めることとし、適切な期間を定めてその進捗及び方向性の点検を行い、より効率的かつ効果的なプログラム推進に努めます。

今後とも、本プログラムの展開に向けて忌憚（きたん）のないご意見、格段のご協力を賜りますようお願いいたします。

北海道グリーンビジネス振興プログラム
戦略目標と行動基本計画
(北海道経済産業局ホームページ内)

http://www.hkd.meti.go.jp/hokni/green_business5/